

<p><b>【技術の名称】</b> マイティスマートベース工法 一定着金物とねじ筋鉄筋 USD685 を用いた鉄骨露出型柱脚工法一（改定3）</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第05-09号 改3 性能証明発効日：2022年8月31日</p> <p><b>【取得者】</b> 株式会社大林組 東京鉄鋼株式会社</p>
--	--

**【技術の概要】**

本技術は、建築基準法 第37条 第二号による大臣認定を受けた降伏点 685N/mm<sup>2</sup>の高強度ねじ筋鉄筋 USD685 をアンカーボルトとし、その所定位置に機械式定着金物を結合したものを基礎に接続する鉄筋コンクリート造柱型部に配置することによって鉄骨露出型柱脚を構築する工法である。本工法は、スマートベース工法一定着金物とねじ筋鉄筋 SD490 を用いた鉄骨露出型柱脚工法一（GBRC 性能証明 第04-07号 改3）を拡張したものである。

**【改定の内容】**

- 新規：GBRC 性能証明 第05-09号（2005年9月6日）  
改定1：GBRC 性能証明 第05-09号 改（2009年11月10日）
- ・終局時軸力制限値の適用範囲の変更
- 改定2：GBRC 性能証明 第05-09号 改2（2016年4月14日）
- ・角形鋼管柱断面制限値の変更
  - ・角形鋼管柱材種の追加
  - ・ベースプレート形状、アンカーボルト本数・配置についての制限の削除
  - ・柱脚部のせん断耐力の変更
  - ・摩擦抵抗力に寄与するベースプレート下面の圧縮応力算定法の変更
  - ・充填モルタル強度の下限値の変更
- 改定3：GBRC 性能証明 第05-09号 改3（2022年8月31日）
- ・申込者（東京鉄鋼（株））の追加
  - ・アンカーボルト、ロックナット材種の追加
  - ・角形鋼管柱、ベースプレート材種の追加

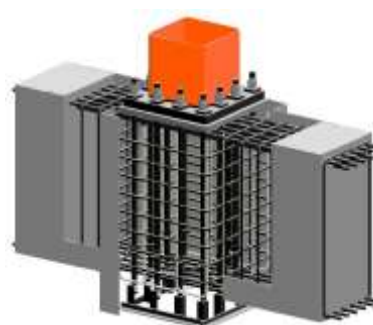
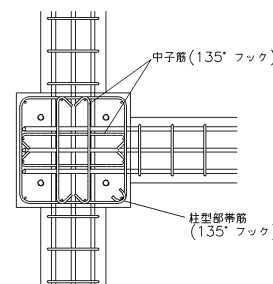


図1 概念図



**【技術開発の趣旨】**

本技術は、従来のスマートベース工法による場合よりも大断面の角形鋼管柱の鉄骨露出型柱脚に適用できるように開発したものである。

**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「マイティスマートベース工法 設計施工要領書」に従って設計・施工された鉄骨露出型柱脚部は、同要領書で規定する回転剛性、終局耐力および変形性能を有し、かつ、同柱脚部の短期許容耐力に達する荷重を繰り返し経験しても修復性を損なうひび割れを残留させる等の損傷を起こさない。

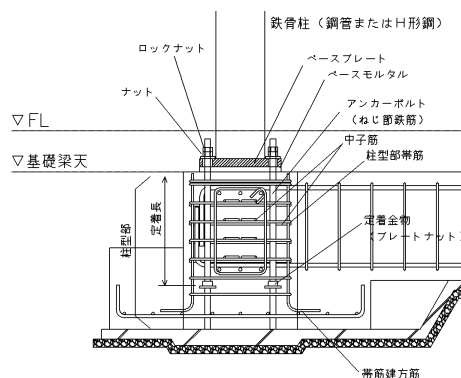


図2 外柱納まり図

**【本技術の問合せ先】**

株式会社大林組 担当者：田中 達彦  
〒530-8520 大阪市北区中之島 3-6-32 ダイビル本館  
東京鉄鋼株式会社 担当者：関野 卓也  
〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-7-2 ステージビルディング 11 階

E-mail：tanaka.tatsuhiko@obayashi.co.jp  
TEL：090-6962-0169 FAX：06-6456-7198  
E-mail：takuya\_sekino@tokyotekko.co.jp  
TEL：03-5276-9706 FAX：03-5276-9713